

令和5年6月30日

緑小だより

横浜市立緑小学校 7・8月号



ふれあい 学びあい みとめあう みどりっ子

Mail : y3midori@edu.city.yokohama.jp

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/midori>

楽しいけれど怖いもの

校長 寺澤 みゆき

私が自転車を買ってもらったのは、小学校1年生の誕生日でした。初めての自転車は後輪に補助輪が付いていて、運転が下手でも転ぶこともなく安心して乗れる、乗り物でした。乗り慣れ、補助輪が外れると、遊びに行くときはいつも自転車。田舎でしたので、自転車で20分ほどかかる友達の家へ遊びに行くことも日常でした。

慣れてくると油断が生じます。ハンドルを持たず、足こぎだけで運転する「手放し」が流行りました。面白いことにはすぐ飛びつく子どもでしたので、そんな危険運転も、一生懸命練習して会得しました。当時の私は、こともなげな顔をして「手放し」運転ができることが格好いいこととっていました。(絶対にまねしないでください。)よくない行動には、必ずしっぺ返しがあります。ひとしきり遊んだ帰宅途中に「手放し」運転をしたところ、道路から約1メートル下の畑に自転車ごと落ち、ひどいけがをしてしまいました。今でも落ちた瞬間に脳裏に浮かんだ後悔と、けがの痛みは忘れることができません。以後、「手放し」運転をしないのはもちろんのこと、自転車の運転は慎重に行うようになりました。

本校では、6月21日(水)緑警察署と保護者さぼ一と隊の方々の力をお借りし、「交通安全教室」を行いました。1年生は安全な歩行、4年生は正しい自転車の乗り方を学習しました。緑署の警察官の方のお話は分かりやすく、自分がルールを守ることに加え、自分が守れていても訪れてしまう危険から自分の身を守る方法を、フリップを見ながら学ぶことができました。

下部に示したグラフは神奈川県警による令和4年度の統計グラフです。小学生の交通事故で一番多いのが自転車乗車中であることが分かります。(資料参照)

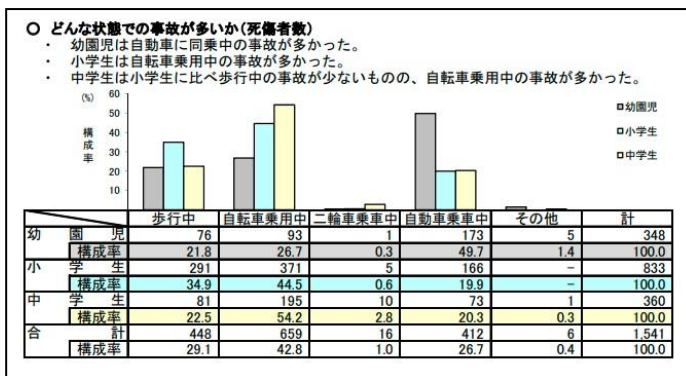
身近で便利、小学生にとって楽しい自転車も、子どもの頃の私のように、ルールを守らなかつたり、油断をしたりすると大変危険なものになってしまいます。交通安全教室を通して学んだことを生かし、自転車を正しく使ってほしいと思います。

さて、今年度は4年ぶりに全学年で水泳学習を行っています。学校での水泳学習は、運動として泳ぎ方を学ぶとともに、水の性質について学ぶ、大切な機会でもあります。水に浮かんだり泳いだりすることは楽しいことですが、海や川での遊びは、一歩間違えば命も失いかねない危険が伴います。水泳指導にあたる際、子どもたちに水の楽しさに併せて怖さも教えるよう職員に伝えました。

早いもので、あと20日で子どもたちが待ちに待った夏休みです。自転車で出かけることも多く、水遊びをする機会もあることでしょう。

ご家庭や地域におかれましても、機に触れ、楽しいけれど一歩間違えると怖いことに変わるものがあることをご指導、ご助言をいただけますよう、どうぞよろしく願いいたします。

8月の授業再開日には、夏休みならでのたくさんの経験をし、ひと回り成長した姿に出会えることを楽しみにしております。子どもたちも保護者の皆様も充実した夏休みになりますよう、願っております。



「かながわの交通事故(令和4年統計)」より